|  |
| --- |
|  |
| 操作チュートリアル  メール認証管理者編 |
|  |



|  |
| --- |
| 第3版  2024/08/16 |

目次

[1. はじめに 1](#_Toc174726601)

[2. メール認証について 1](#_Toc174726602)

[3. メール認証機能を利用するには 1](#_Toc174726603)

[4. メールサーバー情報、システムメールの設定 2](#_Toc174726604)

[5. Web公開/受取フォルダの設定 3](#_Toc174726605)

[5.1. Web公開設定 3](#_Toc174726606)

[5.2. Web公開のデフォルト設定 5](#_Toc174726607)

[5.3. 受取フォルダ設定 7](#_Toc174726608)

[5.4. 受取フォルダのデフォルト設定 9](#_Toc174726609)

[6. メール文書設定 11](#_Toc174726610)

[6.1. Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書 13](#_Toc174726611)

[6.2. 受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書 14](#_Toc174726612)

[7. ユーザー設定 17](#_Toc174726613)

# はじめに

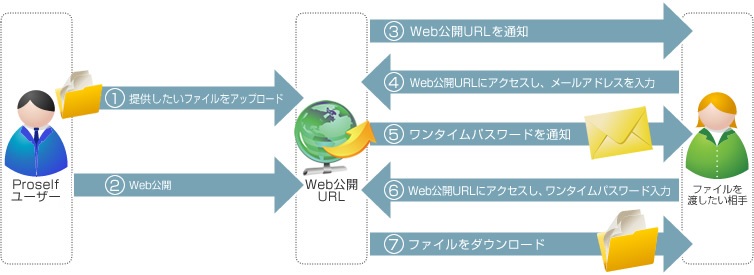
本書では、メール認証を利用したWeb公開/受取フォルダを行うための設定方法を記載しています。是非最後までご一読ください。

# メール認証について

Web公開/受取フォルダ機能において、Proselfのアカウントを持たない人(以降「ゲストユーザー」と記載)がファイルをアップロード/ダウンロードする際にワンタイムパスワードによる認証を行う仕組みがメール認証機能です。

メール認証機能ではワンタイムパスワードを発行するメールアドレスをあらかじめ指定することができ、指定したメールアドレスを持つ人以外はファイルのアップロード/ダウンロードは行えないためセキュリティが大幅に向上します。

また、メール認証機能を使用してワンタイムパスワードを発行したメールアドレスはログファイルに記録されるため、誰がファイルをアップロード/ダウンロードしたかを特定できるというメリットもあります。



**メール認証イメージ(Web公開)**

# メール認証機能を利用するには

メール認証機能を利用するためには、管理者ユーザーで以下の設定が必要です。

* 「[4.メールサーバー情報、システムメールの設定](#_メールサーバー情報、システムメールの設定)」
* 「[5.Web公開/受取フォルダの設定](#_Web公開/受取フォルダの設定)」
* 「[6.メール文書設定](#_メール文書設定)」
* 「[7.ユーザー設定](#_ユーザー設定)」

上記各設定については次項よりご参照ください。

# メールサーバー情報、システムメールの設定

メール認証機能を使用する場合、Proselfからワンタイムパスワードを送信するため、メールサーバー情報、システムメールの設定が必要です。

管理画面にて「システム設定」をクリックします。



**管理画面ホーム**

システム設定画面のメール内にある「メールサーバー情報の設定」、「システムメールの設定」をクリックします。



**システム設定 - メール**

設定方法等の詳細につきましては、以下URL内の「Proself Ver.5 - 操作チュートリアル管理者編」をご参照ください。

<https://www.proself.jp/manualtutorial/list/>

# Web公開/受取フォルダの設定

Web公開/受取フォルダでメール認証機能を使用するための設定を行います。

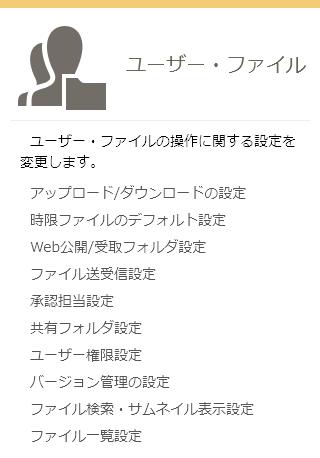
## Web公開設定

管理画面にて「システム設定」をクリックします。



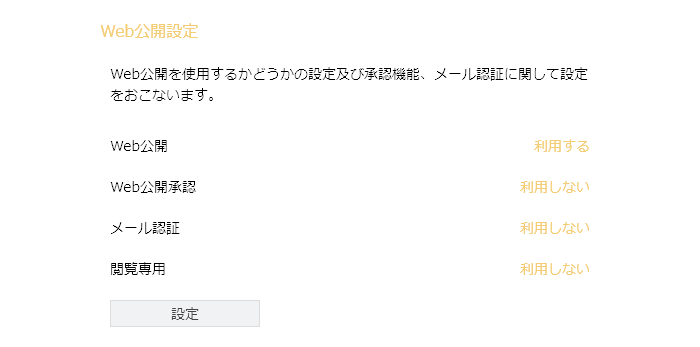
**管理画面ホーム**

ユーザー・ファイル内の「Web公開/受取フォルダ設定」をクリックします。



**システム設定 - ユーザー・ファイル**

Web公開設定内の「設定」をクリックします。



**Web公開/受取フォルダ設定 - Web公開設定**

Web公開メール認証の設定画面より各設定を行います。



**Web公開メール認証の設定**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| メール認証を利用する | onで設定すると、ユーザーがWeb公開設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が表示され、メール認証を利用する/しないを選択することができるようになります。 |
| メール認証の利用を強制する(※1) | onで設定すると、ユーザーがWeb公開設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が非表示となり、メール認証の利用が強制されます。 |
| 公開先メールアドレスを利用しないメール認証を利用可能にする(※2) | onで設定すると、ユーザーがWeb公開設定を行う際に設定項目「公開先メールアドレスを制限する」が表示され、ワンタイムパスワードを発行する公開先メールアドレスを指定しないメール認証を利用できるようになります。 |
| ワンタイムパスワードポリシー(※2) | Web公開でメール認証を利用する際に送信されるワンタイムパスワードの桁数、文字の種類を指定することができます。 |

※1 onにした場合「メール認証を利用する」も自動的にonとなります。

※2 利用するには「メール認証を利用する」をonとする必要があります。

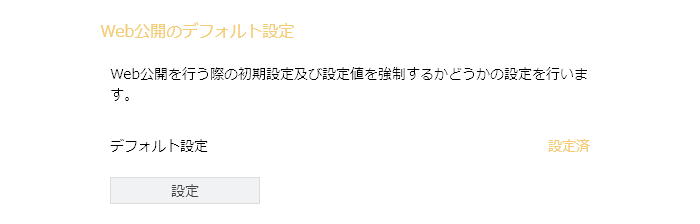
「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

なお、ユーザーがWeb公開設定画面を開いた際の、メール認証の設定項目に対する初期値を設定したい場合は、次項の「[5.2.Web公開のデフォルト設定](#_Web公開のデフォルト設定)」をご参照ください。

## Web公開のデフォルト設定

ユーザーがWeb公開設定画面を開いた際の、メール認証の設定項目に対する初期値を設定することができます。

管理画面より「システム設定」-「ユーザー・ファイル」-「Web公開／受取フォルダ設定」の順に移動後、「Web公のデフォルト設定」より「設定」をクリックします。



**Web公開/受取フォルダ設定 - Web公開のデフォルト設定**

Web公開のデフォルト設定画面より各設定を行います。



**Web公開のデフォルト設定**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| メール認証を利用する(※1) | onで設定すると、ユーザーがWeb公開設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が最初からonとなります。 |
| 公開先メールアドレスを制限する(※2)(※3) | onで設定すると、ユーザーがWeb公開設定を行う際に設定項目「公開先メールアドレスを制限する」が最初からonとなります。 |

※1 「[5.1.Web公開設定](#_Web公開設定)」で「メール認証を利用する」をonで設定していない場合は設定が反映されません。

※2 「[5.1.Web公開設定](#_Web公開設定)」で「公開先メールアドレスを利用しないメール認証を利用可能にする」をonで設定していない場合は設定が反映されません。

※3 onにした場合「メール認証を利用する」も自動的にonとなります。

「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

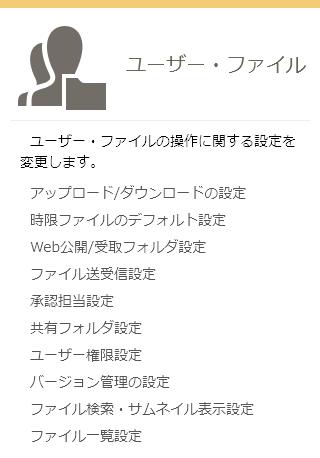
## 受取フォルダ設定

管理画面にて「システム設定」をクリックします。



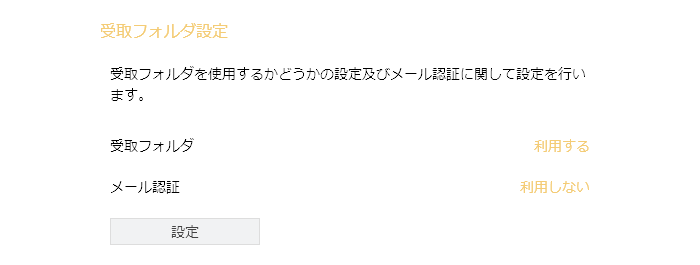
**管理画面ホーム**

ユーザー・ファイル内の「Web公開/受取フォルダ設定」をクリックします。



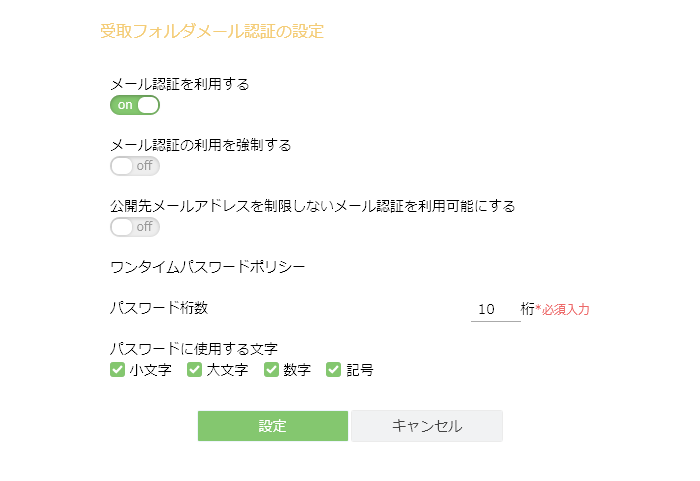
**システム設定 - ユーザー・ファイル**

受取フォルダ設定内の「設定」をクリックします。



**Web公開/受取フォルダ設定 - 受取フォルダ設定**

受取フォルダメール認証の設定画面より各設定を行います。



**受取フォルダメール認証の設定**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| メール認証を利用する | onで設定すると、ユーザーが受取フォルダ設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が表示され、メール認証を利用する/しないを選択することができるようになります。 |
| メール認証の利用を強制する(※1) | onで設定すると、ユーザーが受取フォルダ設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が非表示となり、メール認証の利用が強制されます。 |
| 公開先メールアドレスを利用しないメール認証を利用可能にする(※2) | onで設定すると、ユーザーが受取フォルダ設定を行う際に設定項目「公開先メールアドレスを制限する」が表示され、ワンタイムパスワードを発行する公開先メールアドレスを指定しないメール認証を利用できるようになります。 |
| ワンタイムパスワードポリシー(※2) | 受取フォルダでメール認証を利用する際に送信されるワンタイムパスワードの桁数、文字の種類を指定することができます。 |

※1 onにした場合「メール認証を利用する」も自動的にonとなります。

※2 利用するには「メール認証を利用する」をonとする必要があります。

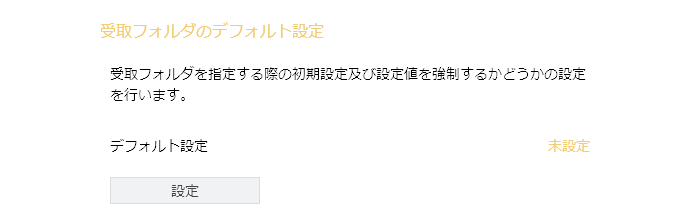
「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

なお、ユーザーが受取フォルダ設定画面を開いた際の、メール認証の設定項目に対する初期値を設定したい場合は、次項の「[5.4.受取フォルダのデフォルト設定](#_受取フォルダのデフォルト設定)」をご参照ください。

## 受取フォルダのデフォルト設定

ユーザーが受取フォルダ設定画面を開いた際の、メール認証の設定項目に対する初期値を設定することができます。

管理画面より「システム設定」-「ユーザー・ファイル」-「Web公開／受取フォルダ設定」の順に移動後、「受取フォルダのデフォルト設定」より「設定」をクリックします。



**Web公開/受取フォルダ設定 - 受取フォルダのデフォルト設定**

受取フォルダのデフォルト設定画面より各設定を行います。



**受取フォルダのデフォルト設定**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| メール認証を利用する(※1) | onで設定すると、ユーザーが受取フォルダ設定を行う際に設定項目「メール認証を利用する」が最初からonとなります。 |
| 公開先メールアドレスを制限する(※2)(※3) | onで設定すると、ユーザーが受取フォルダ設定を行う際に設定項目「公開先メールアドレスを制限する」が最初からonとなります。 |

※1 「[5.3.受取フォルダ](#_受取フォルダ設定)」で「メール認証を利用する」をonで設定していない場合は設定が反映されません。

※2 「[5.3.受取フォルダ](#_受取フォルダ設定)」で「公開先メールアドレスを利用しないメール認証を利用可能にする」をonで設定していない場合は設定が反映されません。

※3 onにした場合「メール認証を利用する」も自動的にonとなります。

# メール文書設定

ワンタイムパスワードを通知するメールの件名、本文を設定します。

日本語のみメール文書をご用意していますが、英語、中国語の通知メールを送信したい場合や専用の件名、本文を設定したい場合に編集ください。

管理画面にて「システム設定」をクリックします。



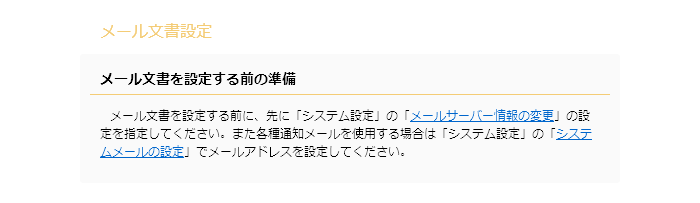
**管理画面ホーム**

システム設定画面より「メール文書設定」をクリックします。



**システム設定 - メール**

* 「メール文書設定」をクリックした際に以下のような「メール文書を設定する前の準備」が表示された場合は、「[2.メールサーバー情報、システムメールの設定](#_メールサーバー情報、システムメールの設定)」の設定を先に実施ください。



**メール文書設定**

メール文書設定画面の「Web公開/受取フォルダ」より、「設定」をクリックします。



**メール文書設定**

Web公開/受取フォルダのメール文書設定に関するメニューが表示されます。



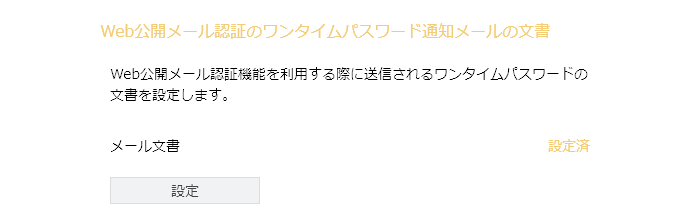
**Web公開/受取フォルダ**

各メール文書の設定については次項より記載しています。

## Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書

Web公開でメール認証を利用する場合におけるワンタイムパスワード通知メールの件名、本文等を設定します。

「Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書」より「設定」をクリックします。



**Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書**

Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書設定画面が表示されますので、適宜設定を行います。



**Web公開メール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 言語設定 | リストを切り替えることで日本語、英語、中国語の各言語におけるメール文書を設定することができます。  ※標準出荷状態では日本語のみメール文書の雛形をご用意しています。 |
| 未設定の言語はこの言語で送信する | 通知メールの言語を未設定で選択しているユーザーに対し、本設定で指定した言語のメール文書設定でメールを送信します。 |
| 件名(※) | メールの件名を指定することができます。 |
| 本文(※) | メールの本文を指定することができます。 |

* 件名と本文には以下の置換文字列を含めることができます。

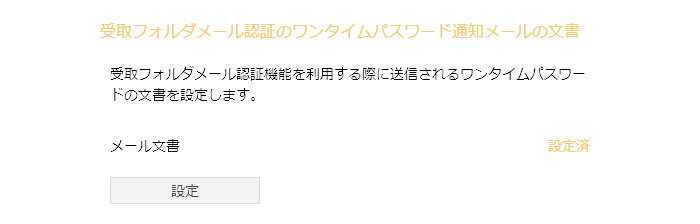
| 置換文字列 | 置換される内容 |
| --- | --- |
| ${sendto} | メールを送信する相手のメールアドレス |
| ${userfullname} | Web公開設定をしたユーザー名 |
| ${mailaddress} | Web公開設定をしたユーザーのメールアドレス |
| ${submailaddress} | Web公開設定をしたユーザーのサブメールアドレス |
| ${publicaddress} | 公開アドレス |
| ${authurl} | 認証用URL |
| ${publicexpire} | 公開期限 |
| ${password} | ワンタイムパスワード   * 本置換文字列が無い場合、ゲストユーザーがワンタイムパスワードを知るすべがなくなりますので必ず含めてください。 |
| ${passwordexpire} | ワンタイムパスワードの有効期限  ※YYYY/MM/DD HH:MM |

「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

## 受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書

受取フォルダででメール認証を利用する場合におけるワンタイムパスワード通知メールの件名、本文等を設定します。

「受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書」より「設定」をクリックします。



**受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書**

受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書設定画面が表示されますので、適宜設定を行います。



**受取フォルダメール認証のワンタイムパスワード通知メールの文書**

各項目については以下の通りです。

| 項目名 | 説明 |
| --- | --- |
| 言語設定 | リストを切り替えることで日本語、英語、中国語の各言語におけるメール文書を設定することができます。  ※標準出荷状態では日本語のみメール文書の雛形をご用意しています。 |
| 未設定の言語はこの言語で送信する | 通知メールの言語を未設定で選択しているユーザーに対し、本設定で指定した言語のメール文書設定でメールを送信します。 |
| 件名(※) | メールの件名を指定することができます。 |
| 本文(※) | メールの本文を指定することができます。 |

* 件名と本文には以下の置換文字列を含めることができます。

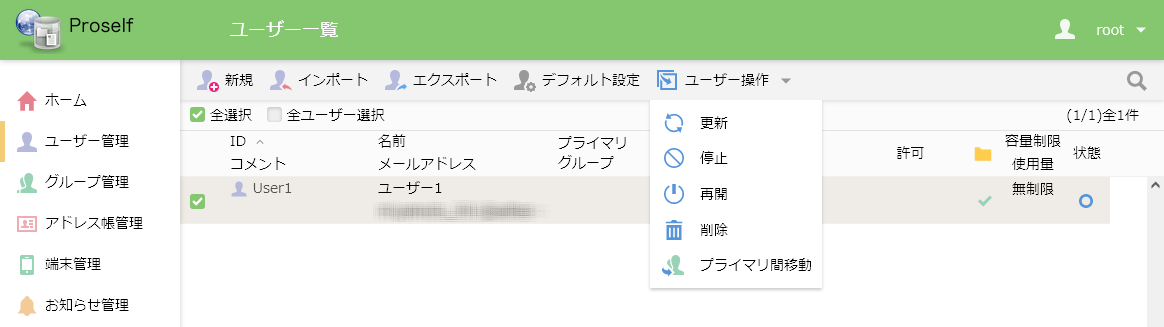
| 置換文字列 | 置換される内容 |
| --- | --- |
| ${sendto} | メールを送信する相手のメールアドレス |
| ${userfullname} | 受取フォルダ指定をしたユーザー名 |
| ${mailaddress} | 受取フォルダ指定をしたユーザーのメールアドレス |
| ${submailaddress} | 受取フォルダ指定をしたユーザーのサブメールアドレス |
| ${publicaddress} | 公開アドレス |
| ${authurl} | 認証用URL |
| ${publicexpire} | 公開期限 |
| ${password} | ワンタイムパスワード   * 本置換文字列が無い場合、ゲストユーザーがワンタイムパスワードを知るすべがなくなりますので必ず含めてください。 |
| ${passwordexpire} | ワンタイムパスワードの有効期限  ※YYYY/MM/DD HH:MM |

「設定」をクリックすると設定内容が反映されます。

# ユーザー設定

メール認証機能を利用するユーザーの設定方法について記載します。

「管理画面」-「ユーザー管理」をクリック後、ユーザ一覧画面でファイル送信を行うユーザーにチェックを入れ、上部メニューのユーザー操作より「更新」をクリックします。



**ユーザー一覧**

許可より「設定」をクリックし、リスト内の「Web公開」にチェックを入れます。



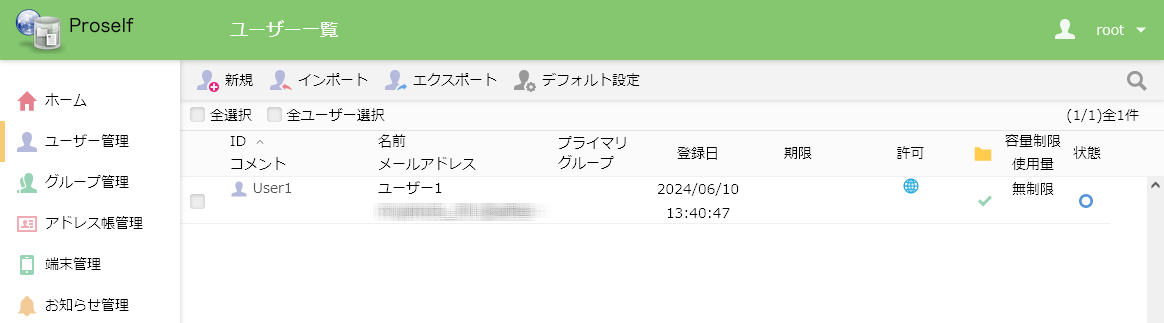
**ユーザー更新**

画面上部の「更新」をクリックします。



**ユーザー更新**

更新後、ユーザー一覧の許可列に以下のようなアイコンが表示されていることを確認します。





**ユーザー一覧**